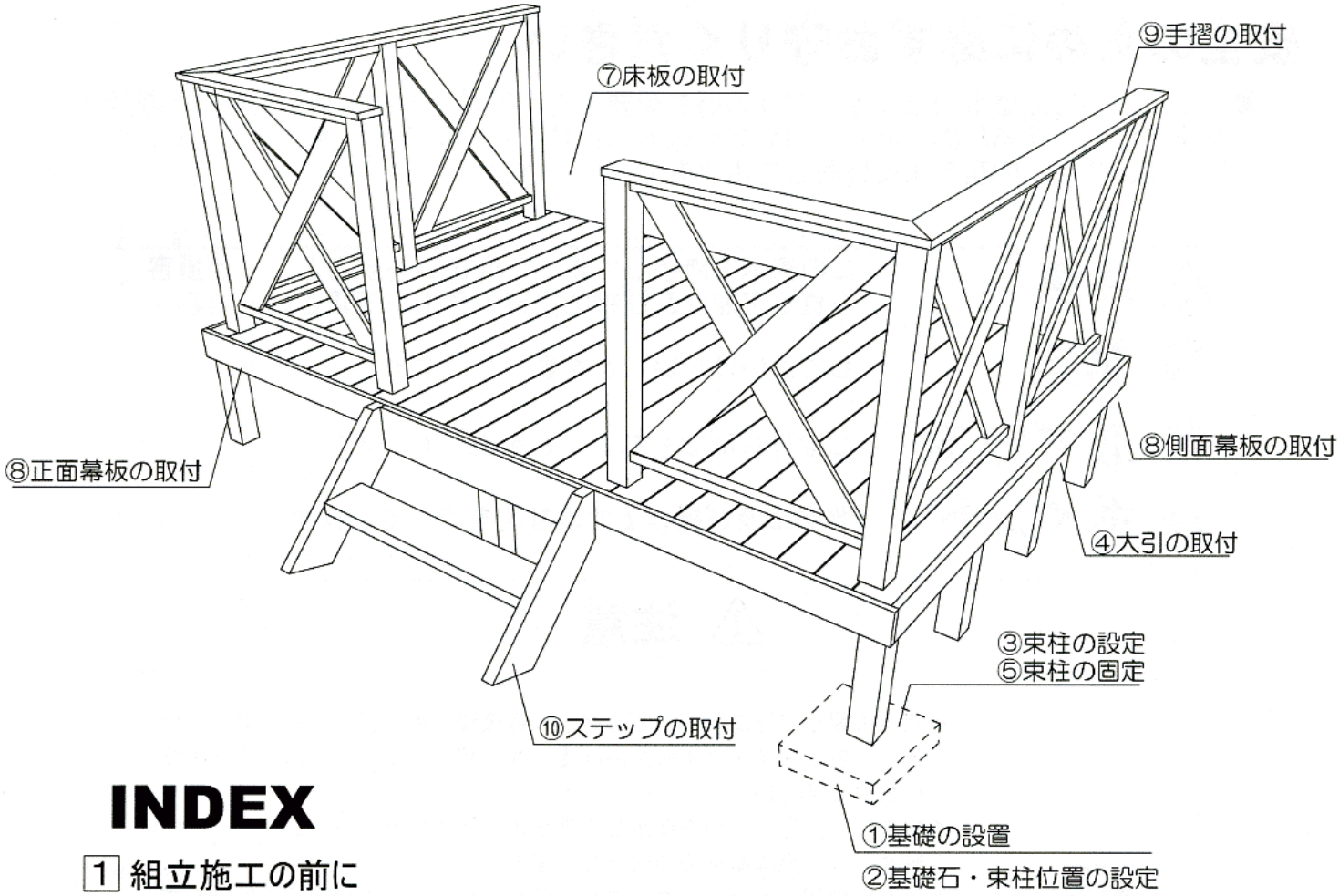
# 組立・施工取扱説明書

株式会社ランバージャック

お客様保管用

# ランバーシステムデッキ




## INDEX


1 組立施工の前に
商品のお手入れ方法

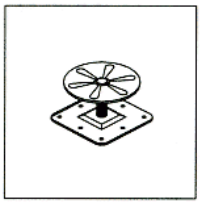
2 梱包明細

3 束柱・大引位置図

4 組立・施工

①基礎の設置　P10
②基礎石・束柱位置の設定　P10
③束柱の設定　P10
④大引の取付　P10
⑤束柱の固定　P10
⑥調整束の取付・固定　P11
⑦床板の取付　P12
⑧幕板の取付　P13
⑨手摺の取付　P14～
⑩ステップの取付　P18
商品保証について　P19


⑥調整束の取付・固定



【必要な工具】ご用意下さい。
○測定工具
オートレベラー/コンベックス/鉛筆/墨つぼ/水糸/水平器/直角定規
○電動工具
コードリール/インパクトドライバー/下穴用：ドリル　φ3.5・φ4.5・φ5.5
丸ノコ・ジグソー/グラインダー　他、普通工具等

# 1．組立・施工の前に

■このたびは、ランバーシステムデッキをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を正しく安全に組立・施工していただくため、この「組立・施工取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行って下さい。

## 安全のために必ずお守りください

■ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容の種類を次のような絵表示で区分し、説明しています。内容をよく理解して本文をお読み下さい。

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が予想される内容。 |
| 禁止 | してはいけないことを表しています。 |
| 必ず守る | しなければならないことを表しています。 |
| ポイント | 作業上及び操作上での勘所を表しています。 |

### ⚠ 注意

必ず守る

◆商品の組立・施工については必ず本取扱説明書に従って行って下さい。
また、施工完了後に本取扱説明書（ユーザーズマニュアル）を施主様にお渡し下さい。
◆組立は、所定のネジを使用して最後まで締め付けて下さい。
締め付け不良は事故の原因となります。
◆塗料の使用にあたっては、塗料に記載されている注意事項を厳守して下さい。
◆ユニットの組み替え等により製作する場合は、製作範囲を確認した上で行って下さい。製作範囲を超えると事故（人身・物損）の原因になります。
◆本商品は、一般住宅の一階用です。一階を超える場所への取り付けは行わないで下さい。
◆製品が破損した場合は、すぐに施工店にご連絡下さい。
破損したままで使用していると事故の原因となります。

禁止

◆基礎部のコンクリートには急結剤や海砂を使用しないで下さい。
柱の腐食の原因となります。
◆みだりに改造や変更はしないで下さい。
◆このデッキは一般住宅地外構用です。ＲＣ、ＡＬＣ、鉄骨工法で施工されたベランダ、廊下、屋上等には使用しないで下さい。
◆運動具やお子様の遊具等、目的以外の使用は絶対にしないで下さい。
◆無理な荷重をかけないで下さい。

# 商品のお手入れ

## ■木製部品のお手入れ方法

いつまでもより美しくご使用いただくためにも１～２年に一度、木材保護塗料の塗り替えをお勧めします。木材保護塗料を塗る場合は施工店にご相談いただくか、市販の木材保護塗料にてご自分で塗り替えて下さい。

### ※ご注意

◆ご自分で塗り替えを行う場合には、各塗料に明記されている注意事項を厳守して下さい。
◆塗り替える前には水洗いをし、よく乾かしてから塗装して下さい。
◆ニスやペンキによる塗装は、絶対に避けて下さい。木の表面に膜をつくり、木が呼吸できなくなり、製品の寿命を縮めてしまいます。市販の木材保護塗料をご使用下さい。

### ※ご理解下さい

◆天然木を使用していますので、部材によってささくれ、若干の反りやヒビ割れが生じますが、木の強度に影響はありません。
（特に手摺用柱等、断面積の大きな部材にはヒビ割れが生じます。）
◆天然の素材のため部材の色の濃度に個体差が生じ、板材に色の濃いもの、薄いものがあります。
◆紫外線等による色褪せ、含水率の変化によるヤセや割れといった経年変化が生じます。
◆製品改良のため、予告なしに仕様を変更することがありますのであらかじめご了承下さい。
◆設置後、水に濡れた部分がべたつくことがありますが、木材の持つ表面保護成分によるものです。
時間の経過によって緩和されます。また、強度・安全性に影響はありません。
ご了承下さい。

## ■金属製部品のお手入れ方法

表面についた汚れを早めに落とすことで美しく長く保てます。

◆ちょっとした汚れであれば布で拭きとって下さい。
◆年に１～２回定期的にぬれ布、又は柔らかな布かスポンジで拭いて下さい。
（金属たわし等を使用すると表面にキズがつきます。）
◆水ではとれにくい汚れは中性洗剤（１～２％水溶液）をつけてしぼった布で軽く洗い流して下さい。最後は乾いた布で水分を拭き取って下さい。

# 2. 梱包明細 下表を参照の上、各部材・部品の有無を確認して下さい。

◆束柱（表中の数量は1本あたりの数量です）

| 部材・部品 | 品名 | | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| 部材 | 束柱 | Sタイプ | 75×75×360（H） | 1 |
| | | Lタイプ | 75×75×560（H） | |
| 部品 | ドリルビスナベ（シルバー） | | 4×13 | 4 |
| | ドリルビスナベ（ブロンズ） | | 4×13 | 2 |
| | コンクリートビス | | 4×25 | 2 |
| | ブラケット | | | 2 |

■ＬＤ－ＴＳ
束柱（１本入）
Ｓタイプ（４５０）
■ＬＤ－ＴＳ
束柱（１本入）
Ｌタイプ（６５０）

◆大引（表中の数量は1本あたりの数量です）

| 部材・部品 | 品名 | | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| 部材 | 大引 | 1.0間 | 75×65×1,849（L） | 1 |
| | | 1.5間 | 75×65×2,721（L） | |
| | | 2.0間 | 75×65×3,593（L） | |

■ＬＤ－ＯＢ１０
大引１．０間（１本入）
■ＬＤ－ＯＢ１５
大引１．５間（１本入）
■ＬＤ－ＯＢ２０
大引２．０間（１本入）

◆正面幕板

| 部材・部品 | 品名 | | サイズ | | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部材 | 正面幕板 | 1.0間 | 105×20×1,889（L） | | 1 |
| | | 1.5間 | 105×20×2,761（L） | | |
| 部品 | 皿木ビス（ブロンズ） | | 3.8×45 | 1.0間 | 6 |
| | | | | 1.5間 | 7 |

■ＬＤ－ＭＦ１０
正面幕板１．０間（１枚入）
■ＬＤ－ＭＦ１５
正面幕板１．５間（１枚入）

◆側面幕板

| 部材・部品 | 品名 | | サイズ | | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部材 | 側面幕板 | 3尺 | 105×20× 880（L） | | 2 |
| | | 6尺 | 105×20×1,780（L） | | |
| 部品 | 皿木ビス（ブロンズ） | | 3.8×45 | 3尺 | 6 |
| | | | | 6尺 | 8 |

■ＬＤ－ＭＳ３
側面幕板３尺（２枚入）
■ＬＤ－ＭＳ６
側面幕板６尺（２枚入）

## ◆デッキ床板

| 部材・部品 | 品名 | | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| 部材 | 床板 | 3尺 | 105×20× 880（L） | 1 |
| | | 6尺 | 105×20×1,780（L） | |
| | | 9尺 | 105×20× 880（L） | 1 |
| | | | 105×20×1,780（L） | 1 |
| | | 12尺 | 105×20×1,780（L） | 2 |
| 部品 | 取付金具<br>（専用アンカー） | | 3尺 | 3 |
| | | | 6尺 | 4 |
| | | | 9尺 | 6 |
| | | | 12尺 | 7 |
| | | | ﾄﾞﾘﾙﾋﾞｽﾅﾍﾞ(ｼﾙﾊﾞｰ)4×13付 | |

■ＬＤ－Ｙ３
床板３尺（１枚入）
■ＬＤ－Ｙ６
床板６尺（１枚入）
■ＬＤ－Ｙ９
床板３尺（１枚入）
床板６尺（１枚入）
■ＬＤ－Ｙ１２
床板６尺（２枚入）

## ◆端部金物

| 部材・部品 | 品名 | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|
| 部品 | 取付金具<br>（専用アンカー） | | 1 |
| | | ﾄﾞﾘﾙﾋﾞｽﾅﾍﾞ(ｼﾙﾊﾞｰ)4×13<br>皿ﾄﾞﾘﾙﾋﾞｽ(ﾌﾞﾛﾝｽﾞ)4×40付 | |

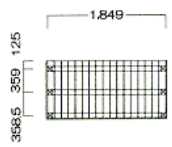
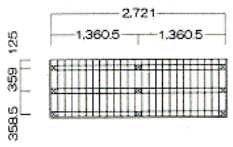
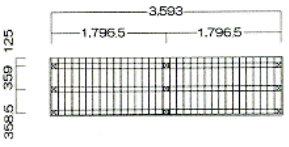
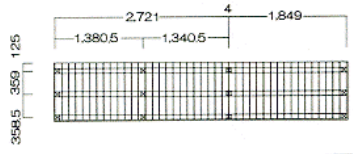
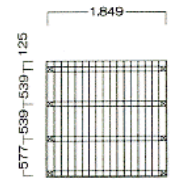
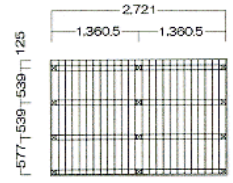
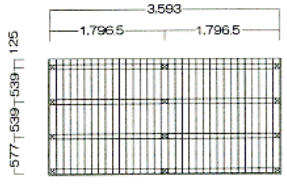
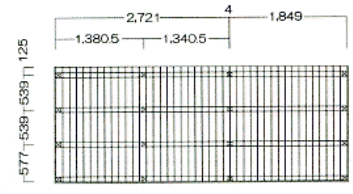
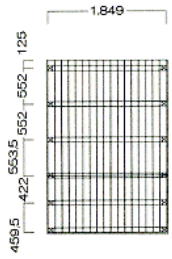
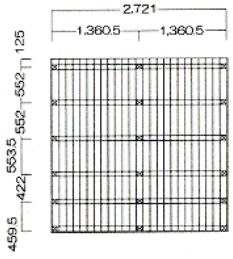
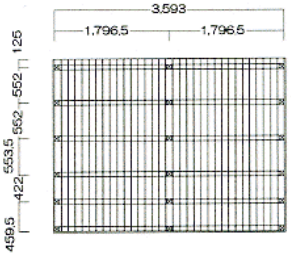
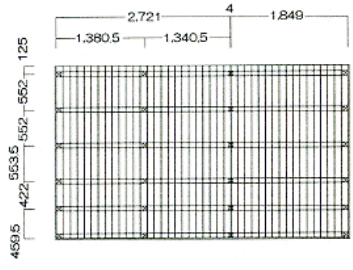
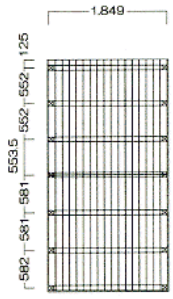
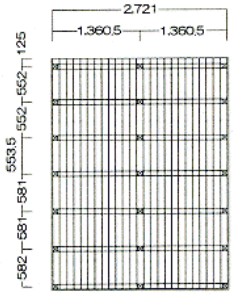
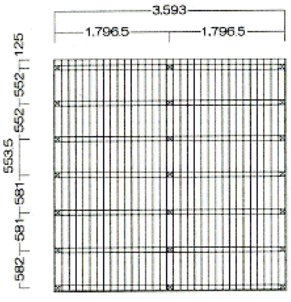
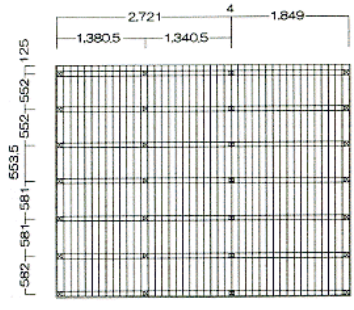
■ＬＤ－ＫＥ
端部金具

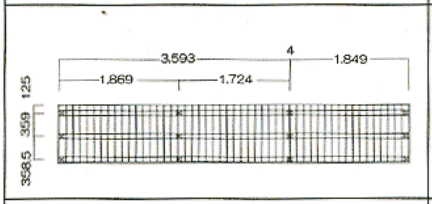
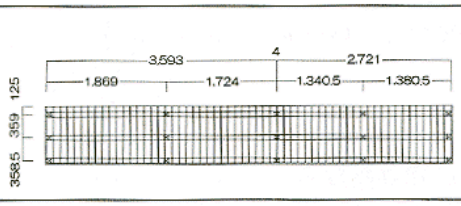
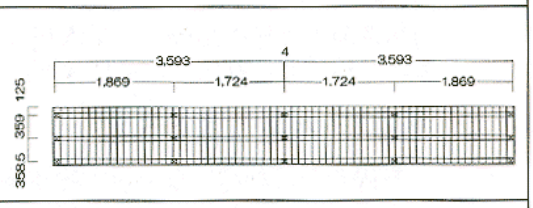
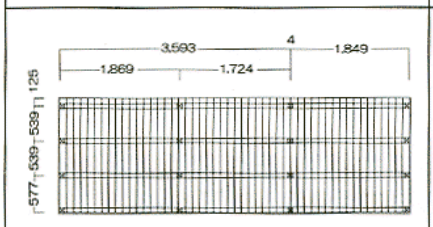
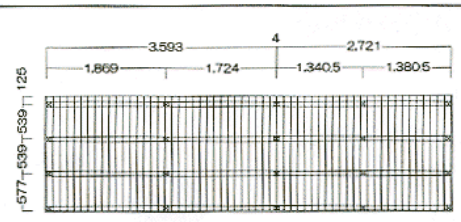
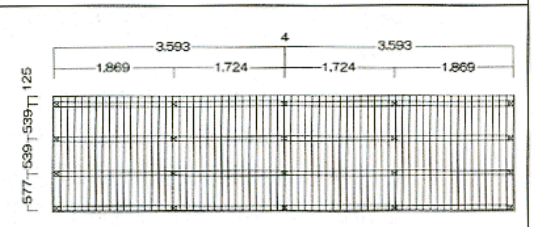
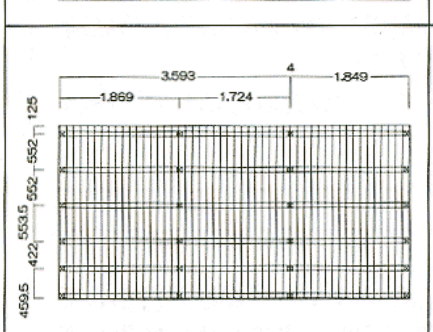
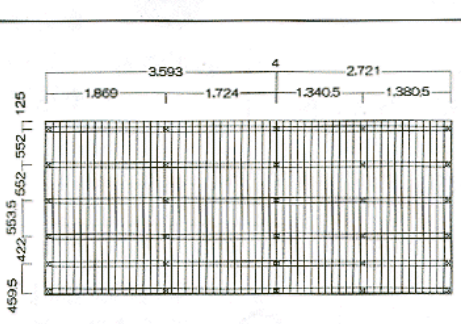
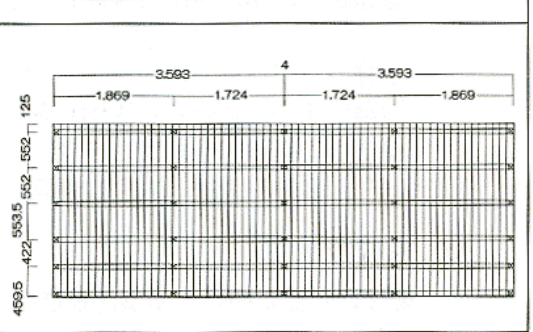
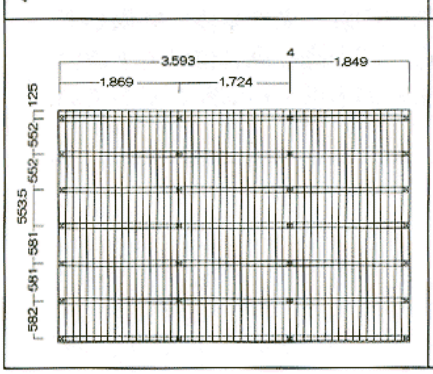
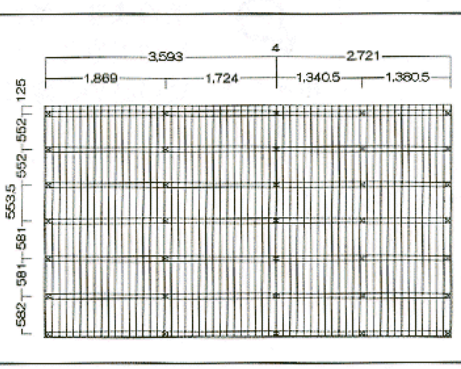
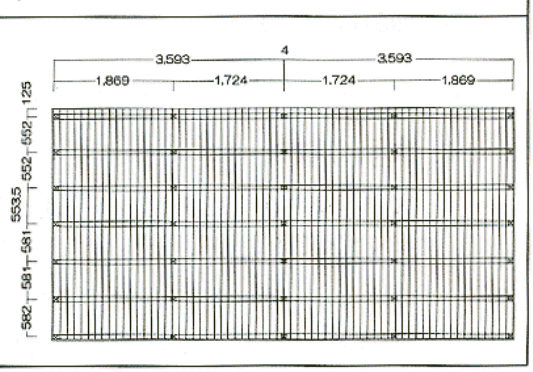
## ◆デッキ部材セット明細

| 間口 | 出幅 | 床板（105×20×L㎜）（ ）内の数字はアンカーの入数 3尺（L＝880㎜） | 床板（105×20×L㎜）（ ）内の数字はアンカーの入数 6尺（L＝1,780㎜） | 端部金物 | 正面幕板（105×20×L㎜） 1.0間（L＝1,889㎜） | 正面幕板（105×20×L㎜） 1.5間（L＝2,761㎜） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.0間（1,889㎜） | 3R（900㎜） | 17（51） | | 3 | 1 | |
| | 6R（1,800㎜） | | 17（68） | 4 | 1 | |
| | 9R（2,684㎜） | 17（51） | 17（51） | 6 | 1 | |
| | 12R（3,584㎜） | | 34（119） | 7 | 1 | |
| 1.5間（2,761㎜） | 3R（900㎜） | 25（75） | | 3 | | 1 |
| | 6R（1,800㎜） | | 25（100） | 4 | | 1 |
| | 9R（2,684㎜） | 25（75） | 25（75） | 6 | | 1 |
| | 12R（3,584㎜） | | 50（175） | 7 | | 1 |
| 2.0間（3,633㎜） | 3R（900㎜） | 33（99） | | 3 | 2 | |
| | 6R（1,800㎜） | | 33（132） | 4 | 2 | |
| | 9R（2,684㎜） | 33（99） | 33（99） | 6 | 2 | |
| | 12R（3,584㎜） | | 66（231） | 7 | 2 | |
| 2.5間（4,614㎜） | 3R（900㎜） | 42（126） | | 3 | 1 | 1 |
| | 6R（1,800㎜） | | 42（168） | 4 | 1 | 1 |
| | 9R（2,684㎜） | 42（126） | 42（126） | 6 | 1 | 1 |
| | 12R（3,584㎜） | | 84（294） | 7 | 1 | 1 |
| 3.0間（5,486㎜） | 3R（900㎜） | 50（150） | | 3 | 3 | |
| | 6R（1,800㎜） | | 50（200） | 4 | 3 | |
| | 9R（2,684㎜） | 50（150） | 50（150） | 6 | 3 | |
| | 12R（3,584㎜） | | 100（350） | 7 | 3 | |
| 3.5間（6,358㎜） | 3R（900㎜） | 58（174） | | 3 | 2 | 1 |
| | 6R（1,800㎜） | | 58（232） | 4 | 2 | 1 |
| | 9R（2,684㎜） | 58（174） | 58（174） | 6 | 2 | 1 |
| | 12R（3,584㎜） | | 116（406） | 7 | 2 | 1 |
| 4.0間（7,230㎜） | 3R（900㎜） | 66（198） | | 3 | 4 | |
| | 6R（1,800㎜） | | 66（264） | 4 | 4 | |
| | 9R（2,684㎜） | 66（198） | 66（198） | 6 | 4 | |
| | 12R（3,584㎜） | | 132（462） | 7 | 4 | |

| 側面幕板（105×20×L㎜） | | 束柱（75×75×H㎜） | | 大引（75×65×L㎜） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3尺（L＝880㎜） | 6尺（L＝1,780㎜） | S（H＝360㎜） | L（H＝560㎜） | 1.0間（L＝1,849㎜） | 1.5間（L＝2,721㎜） | 2.0間（L＝3,593㎜） | |
| 2 | | 6 | | 3 | | | |
| | 2 | 8 | | 4 | | | |
| 2 | 2 | 12 | | 6 | | | |
| | 4 | 14 | | 7 | | | |
| 2 | | 9 | | | 3 | | |
| | 2 | 12 | | | 4 | | |
| 2 | 2 | 18 | | | 6 | | |
| | 4 | 21 | | | 7 | | |
| 2 | | 9 | | | | 3 | |
| | 2 | 12 | | | | 4 | |
| 2 | 2 | 18 | | | | 6 | |
| | 4 | 21 | | | | 7 | |
| 2 | | 12 | | 3 | 3 | | |
| | 2 | 16 | | 4 | 4 | | |
| 2 | 2 | 24 | | 6 | 6 | | |
| | 4 | 28 | | 7 | 7 | | |
| 2 | | 12 | | 3 | | 3 | |
| | 2 | 16 | | 4 | | 4 | |
| 2 | 2 | 24 | | 6 | | 6 | |
| | 4 | 28 | | 7 | | 7 | |
| 2 | | 15 | | | 3 | 3 | |
| | 2 | 20 | | | 4 | 4 | |
| 2 | 2 | 30 | | | 6 | 6 | |
| | 4 | 35 | | | 7 | 7 | |
| 2 | | 15 | | | | 6 | |
| | 2 | 20 | | | | 8 | |
| 2 | 2 | 30 | | | | 12 | |
| | 4 | 35 | | | | 14 | |

# 3. 束柱・大引位置図

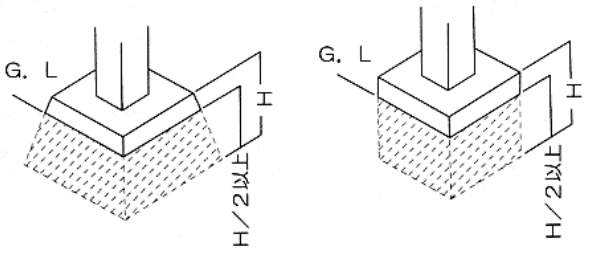
| 間口 / 出幅 | 1.0間（1,889㎜） | 1.5間（2,761㎜） | 2.0間（3,633㎜） | 2.5間（4,616㎜） |
|---|---|---|---|---|
| 3尺（900㎜） |  |  |  |  |
| 6尺（1,800㎜） |  |  |  |  |
| 9尺（2,684㎜） |  |  |  |  |
| 12尺（3,584㎜） |  |  |  |  |

| 3.0間（5,486㎜） | 3.5間（6,358㎜） | 4.0間（7,230㎜） |
|---|---|---|
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

# 4. 組立・施工

## 1. 基礎の設置

設置場所の束柱の基礎は、基礎石、土間コンクリートのどちらでもご利用いただけます。




## 2. 基礎石・束柱位置の設定

①基礎石をご利用になる場合設置場所の建物側から墨出しをし、矩（カネ）を確認して基礎芯を設定します。
（P．8～9束柱・大引位置図　参照）
設定位置に穴を掘り、基礎石の水平レベルを確認しながら地盤を突き固め、埋込んで下さい。
基礎石上に芯の墨出しを施して下さい。

②土間コンクリートの場合
設置場所の建物側から墨出しをし、矩（カネ）を確認して基礎芯を設定します。
（P．8～9束柱・大引位置図　参照）

必ず守る
- ◆基礎石は上面の寸法が 200×200 以上のものを使用して下さい。
- ◆束柱が基礎石の中心にのるように設定して下さい。
- ◆基礎石の半分以上は埋込んで下さい。

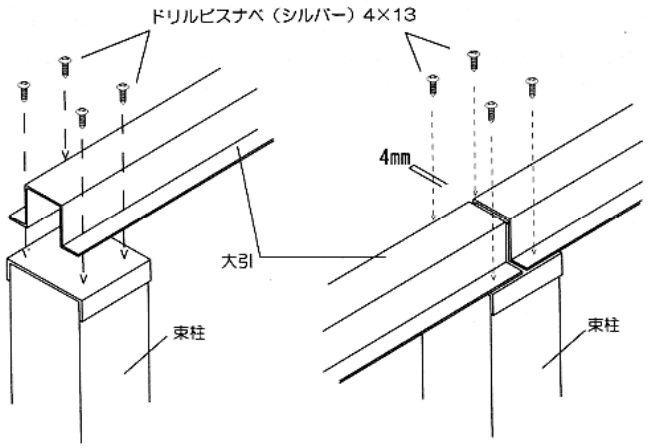
## 3. 束柱の設定

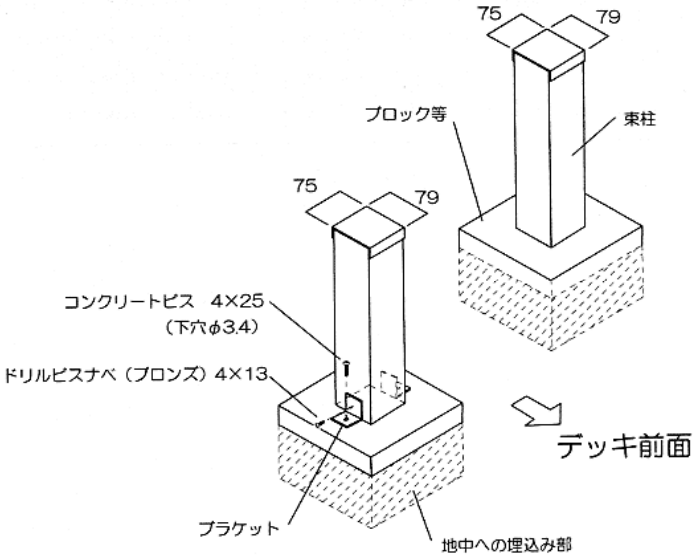
束柱を必要に応じて希望の長さに切断して下さい。

ポイント
束柱の天部はコの字のキャップがビス打ちしてあります。幕板取付の際に束柱本体に密着して取付できるように、同方向に据え付けて下さい。
切り詰めの際は束柱の下部より切断して下さい。

## 4. 大引の取付

大引を束柱の上にのせ、ドリルビスナベ（シルバー）4×13で固定して下さい。



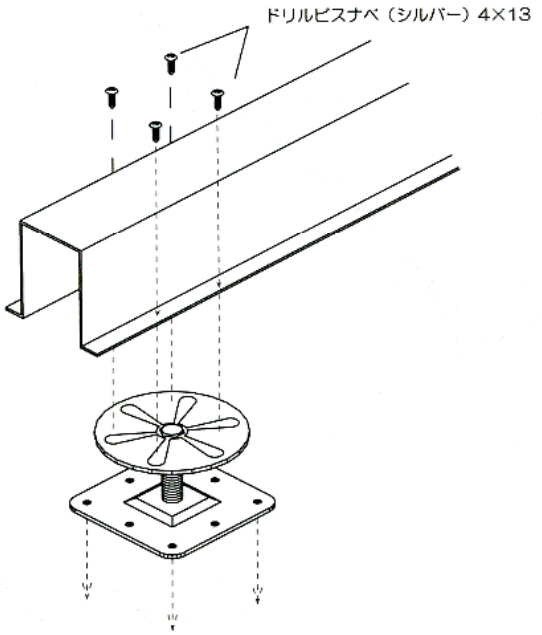

●大引の連結
連結（間口2.5間以上）の場合は、連結部分（束柱の中央）で4㎜のクリアランスを設定して下さい。

## 5. 束柱の固定

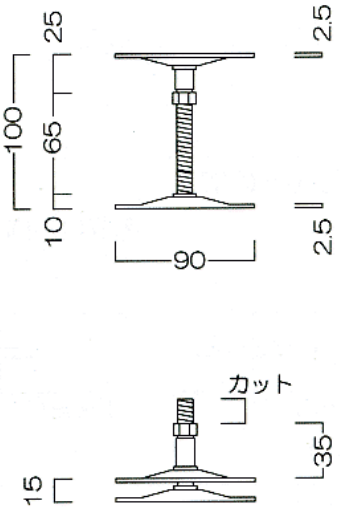
束柱の両サイドにブラケットを取り付け、束柱にはドリルビスナベ（ブロンズ）4×13で、束石にはコンクリートビスで固定して下さい。

## 6. 調整束の取付・固定

調整束を必要に応じて希望の長さに調節して下さい。
調整束は15㎜～100㎜の間で調節可能です。
ボルト部が大引材に干渉する場合には、余分なボルト部分を切断して下さい。
※調整束に対する大引の取付・連結方法は前項と同様。



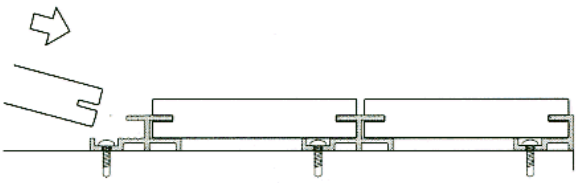

基礎部へ固定

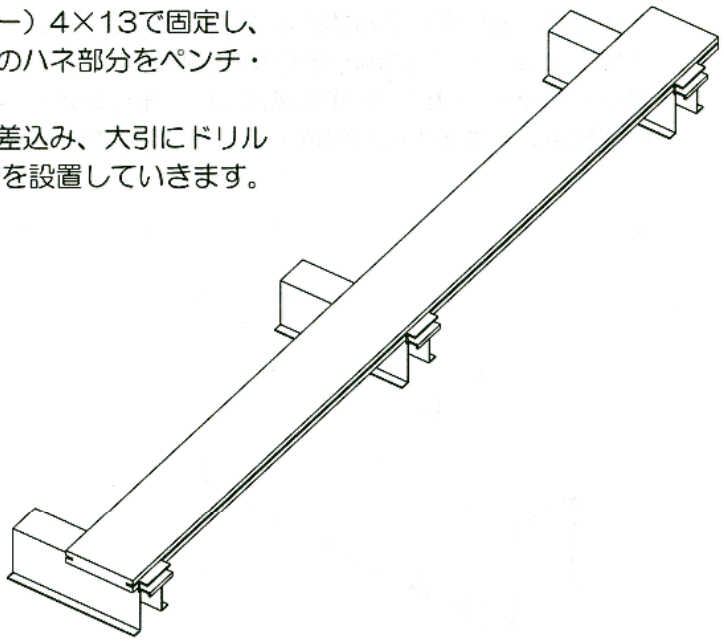


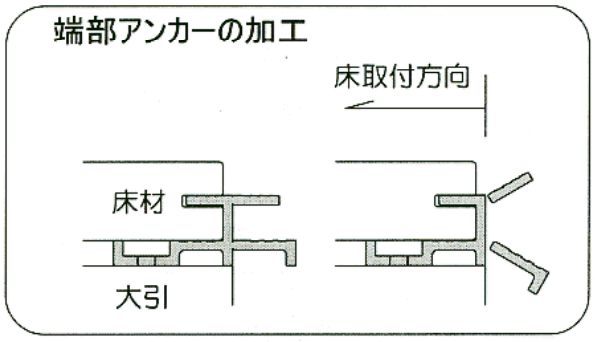

※調整束を基礎面に固定するビス、アンカー等は現場にてご用意下さい。

## 7. 床板の取付

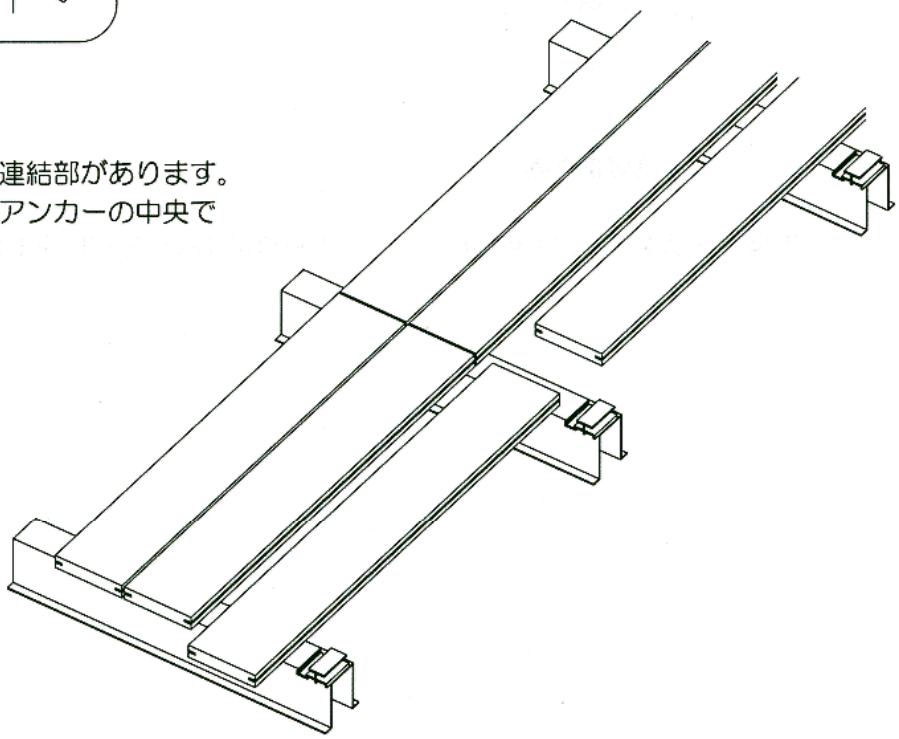
①大引端部にアンカーをドリルビスナベ（シルバー）4×13で固定し、床板を取り付けます。（端部に残ったアンカーのハネ部分をペンチ・ハンマー等で取り除いて下さい）
②取り付けられた床材のスリット部にアンカーを差込み、大引にドリルビスナベ（シルバー）4×13固定し、続けて床を設置していきます。



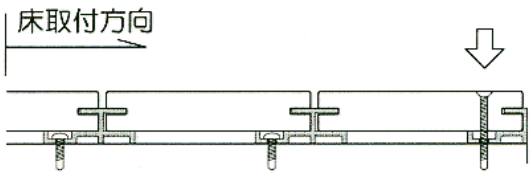





●床板の連結
出幅９尺、１２尺については床板に連結部があります。
連結部にはアンカーを１個使用し、アンカーの中央で固定します。



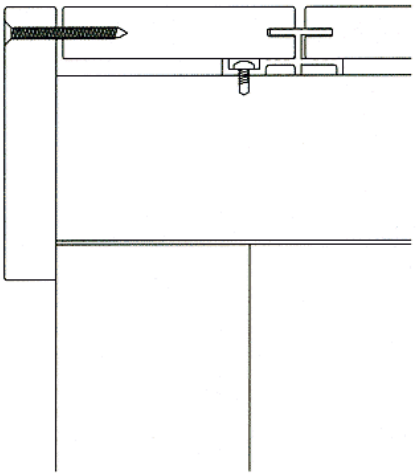
③床板最終端部の取付
床板の端部から22㎜の位置に4.5φの下穴をあけ（床板のみ）、
皿ドリルビス4×40を使い固定します。
（端部に残ったアンカーのハネ部分をペンチ・ハンマー等で取り除いて下さい）

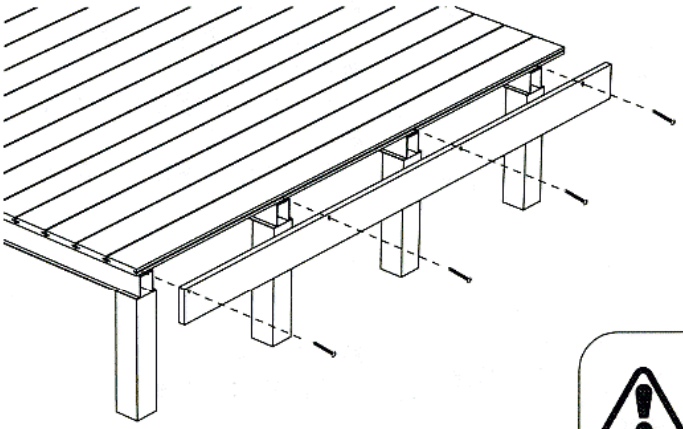



注意　下穴加工を施さずに固定しようとした場合ビスの破損、部材の破損の原因となります。必ず固定前に下穴加工を施して下さい。

## 8. 幕板の取付

●側面幕板の上部を床板に取付けます。
両サイドは端から50㎜、上から10㎜の位置に中部はピッチ600㎜程度（およそ束柱の上部）になるように下穴をあけ、皿木ビス3.8×45で固定します。
【下穴】　幕板：4.5φ　床板：3.5φ

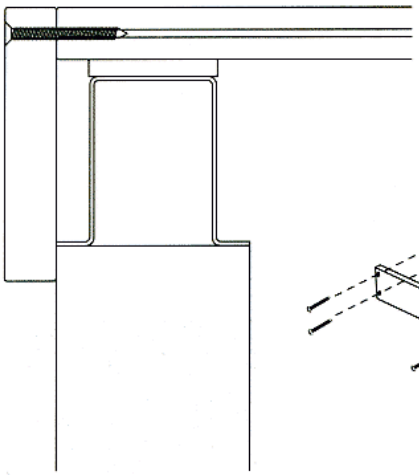


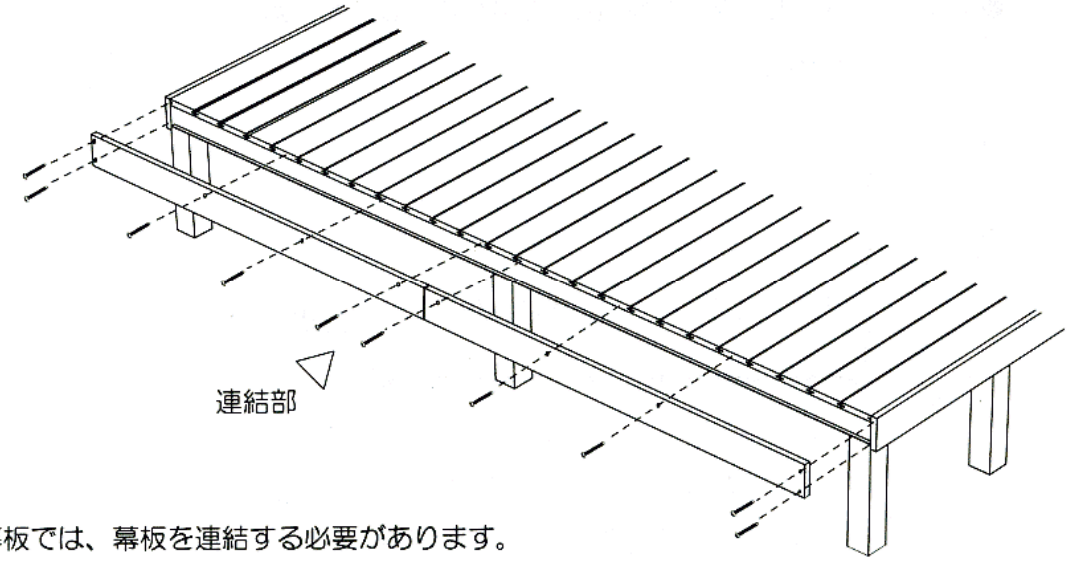


注意
下穴加工を施さずに固定しようとした場合
ビスの破損、部材の破損の原因となります。
必ず固定前に下穴加工を施して下さい。

●正面幕板の上部を床板に取付けます。

端部は側面幕板に対して２箇所
中部はピッチ600㎜程度（およそ束柱の上部）になるよう
下穴をあけ、皿木ビス3.8×45で固定します。
【下穴】　幕板：4.5φ　床板：3.5φ






※２間以上の間口の正面幕板では、幕板を連結する必要があります。
連結部が束柱の中央になるよう、部材を切断加工します。

## 9. 手摺の取付

### ◆手摺本体（ラティス・クロス）

| 部材・部品 | 品名 | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|
| 部材 | 本体 | | 1 |

■ＬＴ－Ｌ
ラティス手摺本体（１枚入）
■ＬＴ－Ｘ
クロス手摺本体（１枚入）

### ◆手摺柱（エンド・センター・コーナー）

| 部材・部品 | 品名 | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|
| 部材 | 手摺柱 | 70×70　L880 | 1 |
| 部品 | Ｌ金具 | | 2 |
| | Ａトラスビス | 4×20 | 12 |
| | | | |

■ＬＴ－ＨＥ
エンド手摺柱（１本入）
■ＬＴ－ＨＳ
センター手摺柱（１本入）
■ＬＴ－ＨＣ
コーナー手摺柱（１本入）

### ◆手摺笠木

| 部材・部品 | 品名 | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|
| 部材 | 手摺笠木 | 90×20　L880 | 1 |
| 部品 | 皿木ビス（ブロンズ） | 3.8×38 | 4 |

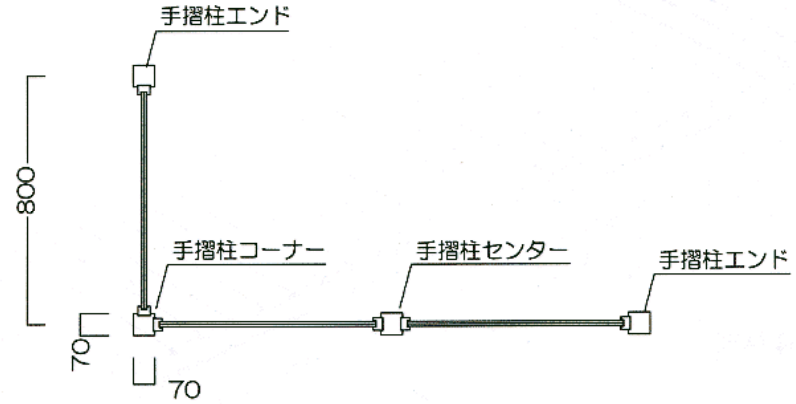
■ＬＴ－ＳＫ
手摺笠木（１本入）

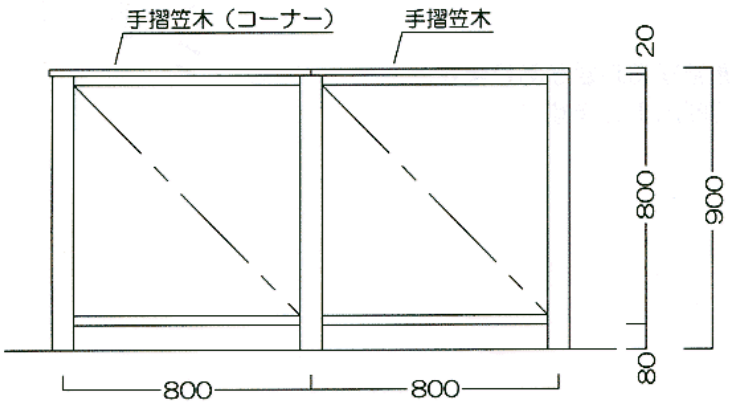
### ◆手摺笠木（コーナー）

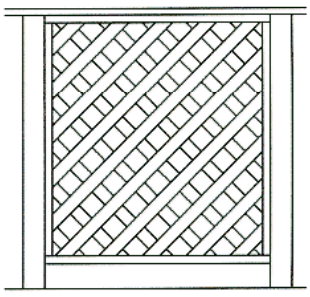
| 部材・部品 | 品名 | サイズ | 数量 |
|---|---|---|---|
| 部材 | 手摺笠木 | 90×20　L885 | 2 |
| 部品 | 皿木ビス（ブロンズ） | 3.8×38 | 8 |

■ＬＴ－ＣＫ
手摺コーナー笠木（２本入）

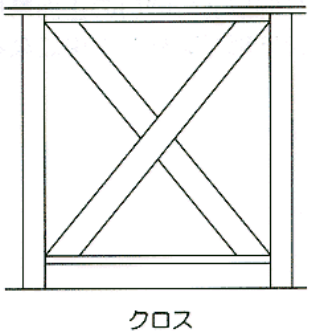
●図はデッキ手摺を３スパン使用し、Ｌ型に施工した例です。



ラティス

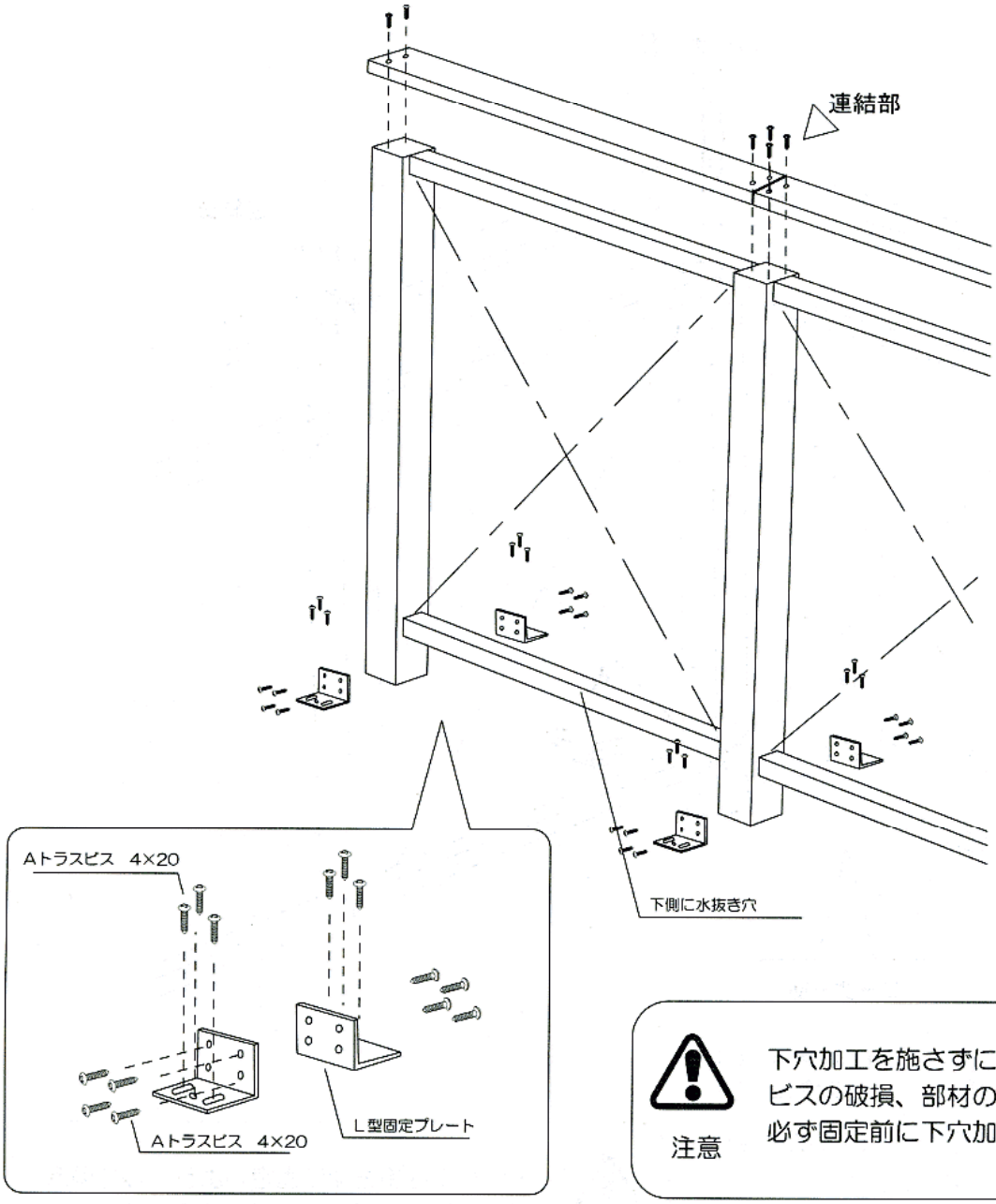


クロス

## ◆手摺直線部の組立

手摺を取付ける前に必ず、各々の柱の位置決めを行って下さい。
ビスによる固定箇所には必ず下穴をあけて下さい。

1．L型固定プレートを手摺柱に取付けます。デッキの柱位置に手摺柱とL型固定プレートを
　Aトラスビス　4×20　で取付けます。
2．設置された柱間に手摺本体を上から差込みます。
　この時、本体の枠にある水抜き穴が下方向になるよう取付けて下さい。
3．笠木を柱に対して皿木ビス　3.8×38　で取付けます。
　笠木の連結部が柱中央になるよう、切断加工します。
　【下穴】　笠木：4.5φ　柱：3.5φ

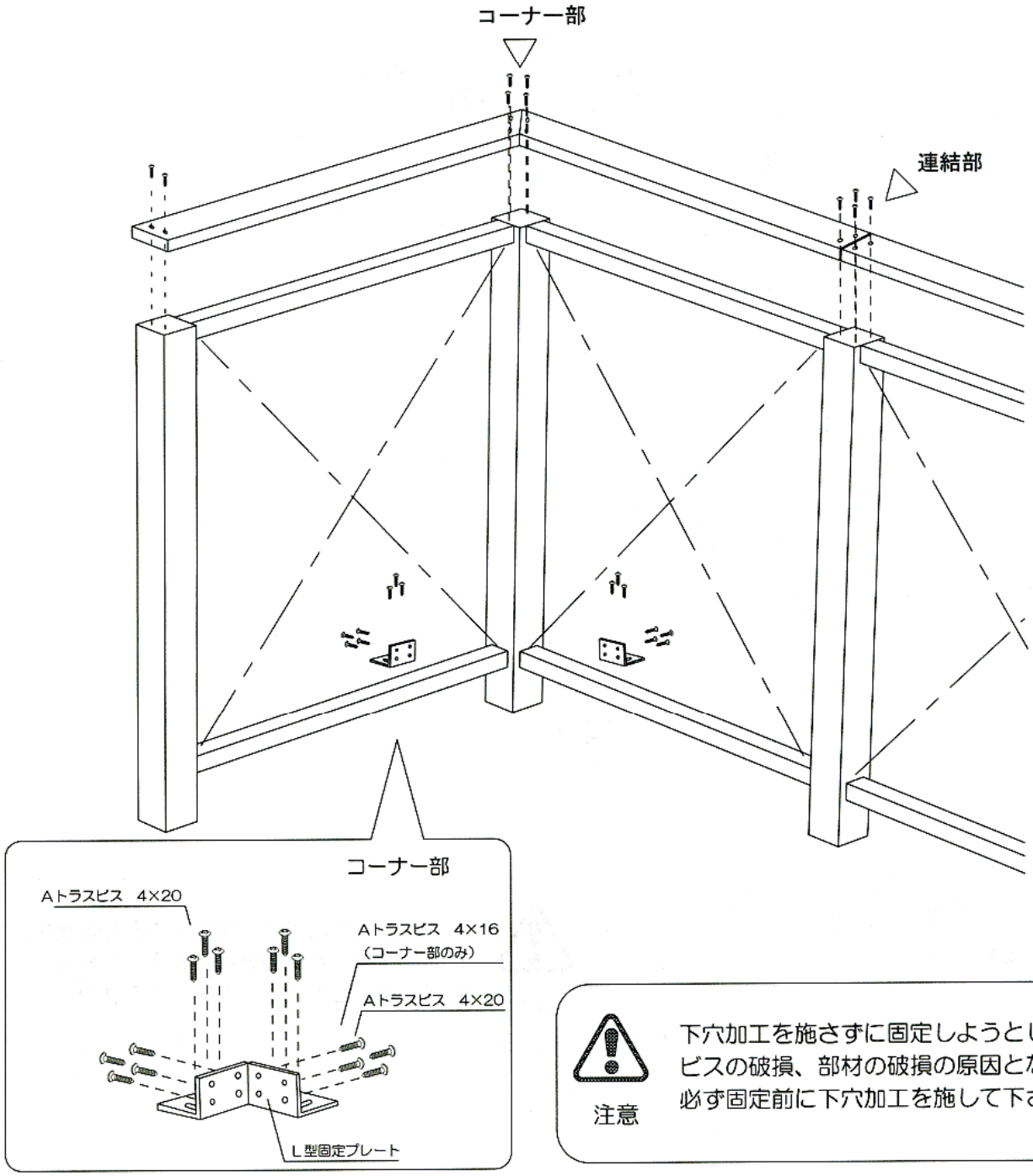



注意
下穴加工を施さずに固定しようとした場合
ビスの破損、部材の破損の原因となります。
必ず固定前に下穴加工を施して下さい。

## ◆手摺コーナー部の組立

手摺を取付ける前に必ず、各々の柱の位置決めを行って下さい。
ビスによる固定箇所には必ず下穴をあけて下さい。

1. L型固定プレートを手摺柱に取付けます。デッキの柱位置に手摺柱とL型固定プレートを
   Aトラスビス　4×20　で取付けます。
2. 設置された柱間に手摺本体を上から差込みます。
   この時、本体の枠にある水抜き穴が下方向になるよう取付けて下さい。
3. 笠木を柱に対して皿木ビス　3.8×38　で取付けます。
   笠木の連結部が柱中央になるよう、切断加工します。
   【下穴】　笠木：4.5φ　柱：3.5φ



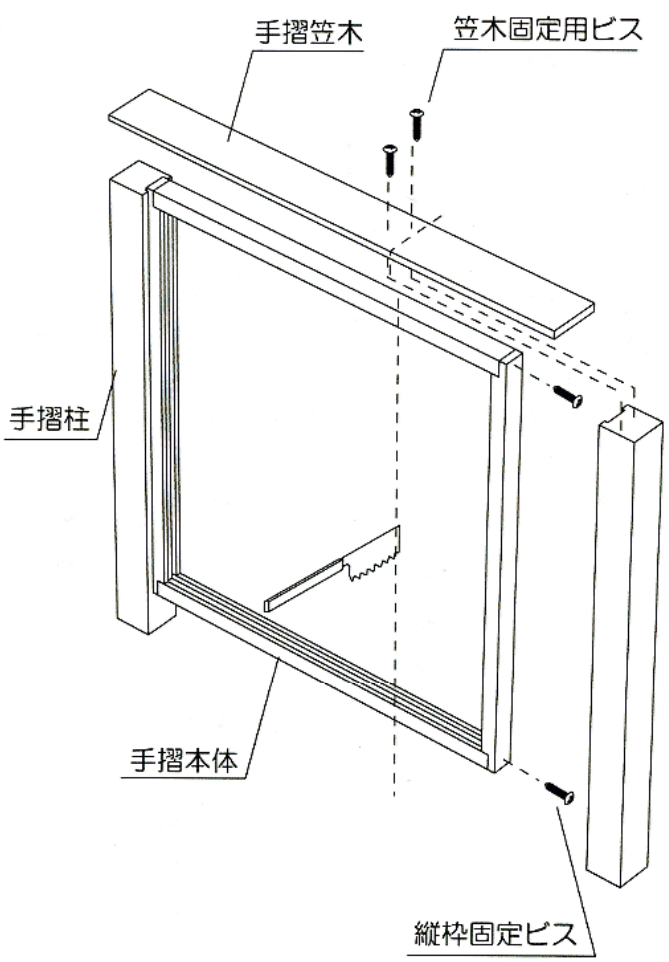

注意

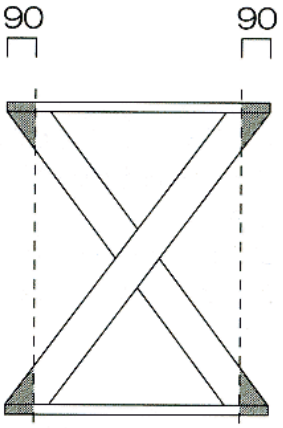
下穴加工を施さずに固定しようとした場合
ビスの破損、部材の破損の原因となります。
必ず固定前に下穴加工を施して下さい。

## ◆切詰方法

デッキ手摺のW寸法は800㎜ですが、必要に応じて自由に切詰めてご使用いただけます。
手摺本体の縦枠を取り外し、必要な長さを切詰めます。
（クロスタイプについてはビス位置にご注意下さい。）
切詰加工後、再度縦枠を手摺本体に固定し手摺を取付けます。
この時、笠木についても切詰めをおこない柱上で固定します。

ポイント
●左右のバランスをとりながら
切詰めるとより美しく仕上がります。




## ◆デッキ手摺（クロス）切詰方法

切詰めは手摺り本体の両サイド共に90㎜以内です。

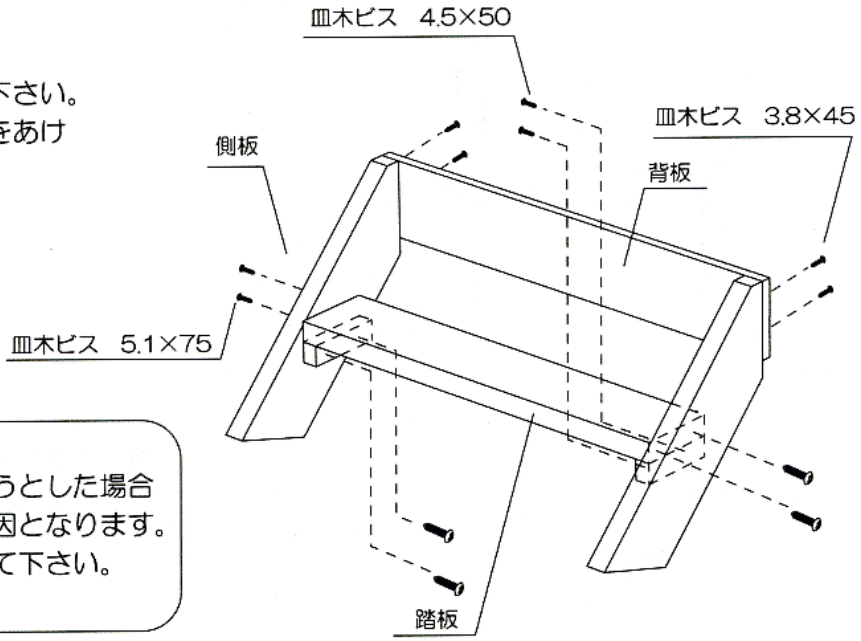
注意
下穴加工を施さずに固定しようとした場合
ビスの破損、部材の破損の原因となります。
必ず固定前に下穴加工を施して下さい。

## 10. ステップの取付

| 部材・部品 | 品名 | サイズ | 数量（S） | 数量（L） |
|---|---|---|---|---|
| 部材 | 側板（右・左） | | 各1 | 各1 |
| | 踏板 | | 1 | 2 |
| | 背板 | | 1 | 1 |
| 部品 | 皿木ビス（ブロンズ） | 3.8×45 | 4 | 4 |
| | 皿木ビス（ブロンズ） | 4.5×50 | 4 | 8 |
| | 皿木ビス（ブロンズ） | 5.1×75 | 4 | 8 |
| | Aトラスビス | 4×50 | 3 | 3 |
| | Aトラスビス | 4×20 | 2 | 2 |
| | コンクリートビス | 4×25 | 2 | 2 |
| | ブラケット | | 2 | 2 |

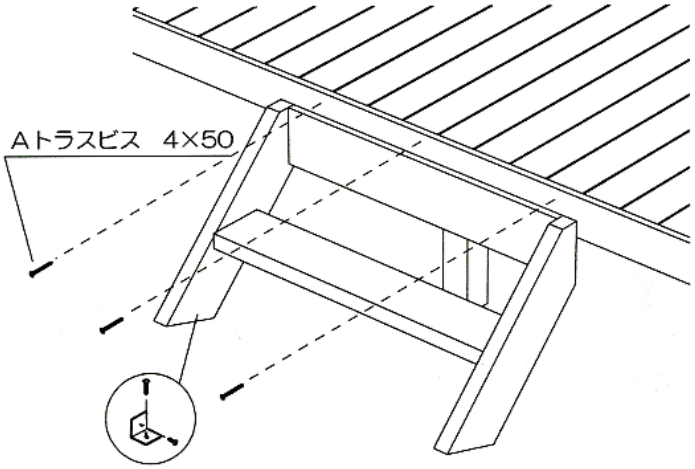
■ＬＤ－ＳＳ
ステップＳタイプ
（１セット入）
■ＬＤ－ＳＬ
ステップＬタイプ
（１セット入）

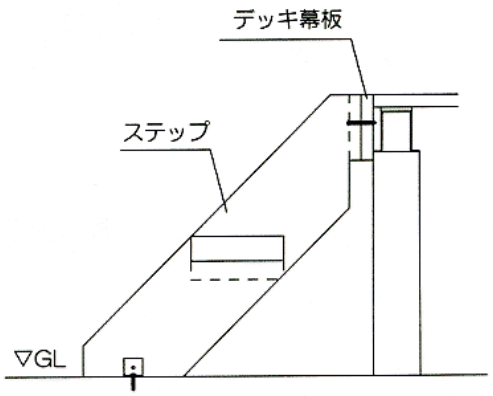
右図を参考の上、所定のネジで組み立てて下さい。
踏板の位置は、側板のお好みの高さに下穴をあけ
自由に固定できます。
【下穴】　貫通部：ビスの径＋0.5㎜
　　固定部：ビスの径－0.5㎜




注意　下穴加工を施さずに固定しようとした場合
ビスの破損、部材の破損の原因となります。
必ず固定前に下穴加工を施して下さい。

デッキ幕板に下穴を施した後、固定してください。




基礎部とブラケットで固定して下さい。
※コンクリート平板（別途ご用意下さい）などで
　ステップが下がらないよう固めて下さい。
※荷重がかかりますので確実に固定して下さい。

# 商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するためのものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い上げ、またはお取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼して下さい。当社支店・営業所、お客様相談室にてもご相談を承ります。

| | |
|---|---|
| (1)保証者 | 株式会社　ランバージャック |
| (2)保証の対象者 | 当該商品の所有者 |
| (3)対象商品 | ランバーシステムデッキ・ランバーシステムフェンス(付属商品を含む) |
| (4)保証内容 | 取扱説明書またはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理致します。 |
| (5)保証期間 | 当該商品の施工完了日（お引渡し日）から起算して1年間。<br>なお、起算日については所有者で立証していただきます。 |
| (6)品質保証の免責事項 | 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。<br>①取扱説明書、カタログなどに記載された施工、取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。<br>②取扱説明書やカタログに記載された使用方法からの逸脱および適切な維持管理を行わなかったことになどに起因する不具合（例えば中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。<br>③建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。<br>④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗・磨耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化またはこれに伴う不具合、および消耗品の損傷。<br>⑤自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート面等への汚れなど）。<br>⑥環境が特に悪い地域または場所に取付けられたことに起因する腐食および不具合（例えば、海岸地域での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。<br>⑦天災その他の不可効力（例えば、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地盤沈下・落雷・火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。<br>⑧実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。<br>⑨犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害またはつるや根などの植物の害による不具合。<br>⑩使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。<br>⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。<br>⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。 |

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社もしくは販売店にお問い合わせ下さい。

# MEMO

お問合わせ先
株式会社 ランバージャック
愛知県豊川市八幡町佃50番地 TEL.0533-88-5266 FAX.0533-88-6711